

熊谷市立熊谷東中学校

清水 利浩



一 本校の沿革

本校は、昭和三十六年（一九六一）、桜田中学校と星宮中学校が統合して開校した歴史と伝統のある学校です。市の東部に位置し、生徒は主に熊谷東小、佐谷田小、久下小、成田星宮小の四つの小学校から通学してきます。南北に広がる学区には、ラグビーW杯の会場となった熊谷ラグビー場があり、天然記念物ムサシトミヨの唯一の生息地である元荒川が流れる風光明媚な地域です。学校教育目標は「志高く」。そして、目指す学校像は「正しい判断力とたくましい実践力をもった東中生を育成する学校」とし、教職員と生徒・保護者と力を合わせ、地域を愛し、地域と共に成長し続ける学校を創造しております。どうぞ、よろしく願います。

二 校章・校歌制定に係るエピソード

一 校章

- ① 制定年 昭和三十七年（一九六二）
- ② デザインの意図

三つのペンを図案化する本校の校章は、三年間の中学校生活における一人一人の学びを表します。ペンの先端は、生徒一人一人の目標を意味し、本校は、学校は、学びの場であり、学力をつけるため、ふだんの学びを大切にすることを意味します。底辺の二点は、星宮中と桜田中の友情を象徴し、頂点の一点は、市内の統合学校第一号として一致協力していく決意を表します。校章の内部の無数の点は、生徒一人一人を表し、三辺は鎖をデザインされ、地域の人々との強い協力を意味します。校章には、設立当時の人々の思いや願いが込められています。

2 校歌

- ① 制定年 昭和三十四年（一九五九）
- ② 特徴 作詞 石坂養平

作曲 荒井敬正

熊谷東中学校 校歌

作詞 石坂養平

作曲 荒井敬正

させつのとりがかすめとびこ
がねのなみがよせてくるひー
がしちうがくにわおもにわれ
らのくつのあとがある

- 一、季節の鳥がかすめとび
黄金の波がよせてくる
東中学 庭面に
我等の靴の跡がある
- 二、若い心のとびら戸を
開いてくれた数々の
厳しい教えのみしめて
人間性を貫こう
- 三、愛と誠の織りなした
光る校風 たたえつつ
- 四、腕を伸ばしておもむるに
なおき飛躍を続けよう
- 四、学びの道をおびやかす
さかしらあまた起るとも
日ごろ鍛えた鉄のごと
堅い意志もて断ち切ろう